寫眞週報

情報局編輯
八月廿六日・第二百卅五號・十セン

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

興隆の地つぎつぎに額の平け
密林太しき立て　工木高知らす
大つ祖國つ祖
こゝに皇神あますと
新らしき民等も齊しく額を垂る
その胸に深く深く通ふもの
神　無雜　ひとすぢの日本精神
大らかに大らかに
國のこゝろこゝにたゞよひ出つ

—昭南神社の御造營に寄す—

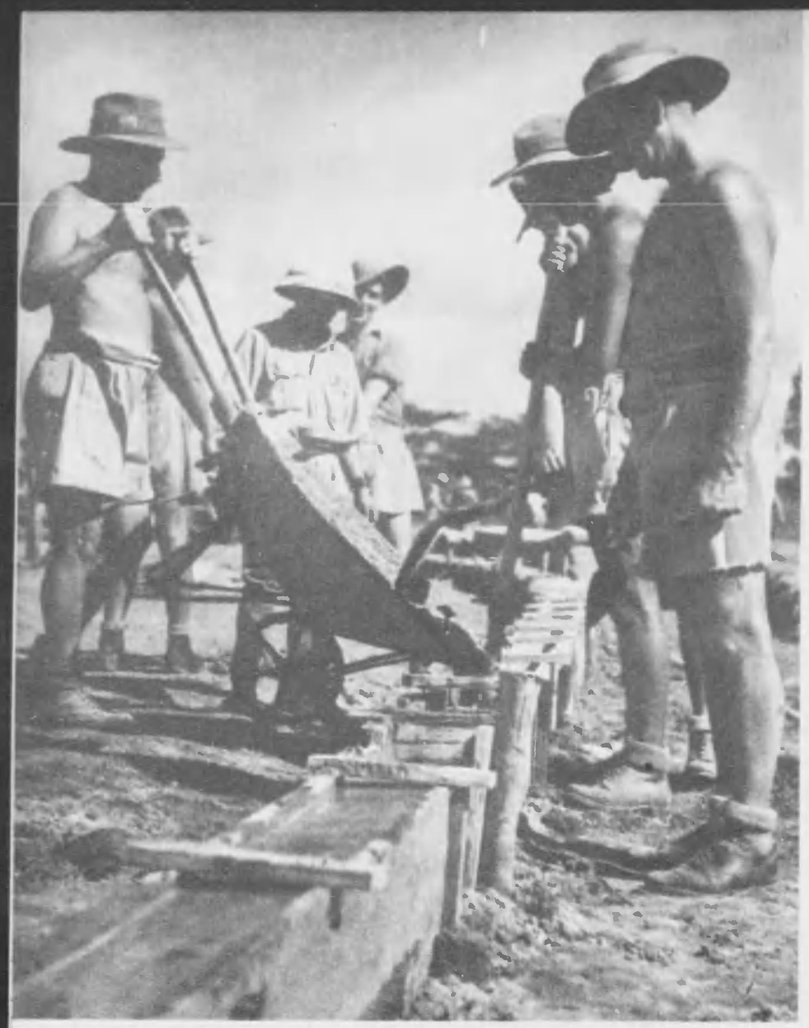
米洲船換交のらかに昭南島に安着

野村、來栖、石射三大使はじめ遠く北、中、南米、カナダに使ひしたわが外交官及び一般引揚げ邦人一千四百四十八名をのせた日米交換第一船淺間丸及びコンテ・ヴェルデ號は、海路無事さる九日昭南港に到着、現地軍官民多數の出迎へをうけた野村大使以下は、約半年に亘る監禁生活と長途の航海にもめけず、元氣一杯、新帝國領土昭南島に感激溢れる歸國の第一歩を印した

⇧昭南市の目覺ましい復興ぶりを展望する野村、來栖兩大使

⇩足どりもいそ〳〵と新領土昭南港に上陸する歸國邦人とタイ國の留學生一行（前から二人目及び三人目はピブン首相の令孫と令息）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



完成間近な御藏

仕奉御も虜俘
營造御の社神南昭

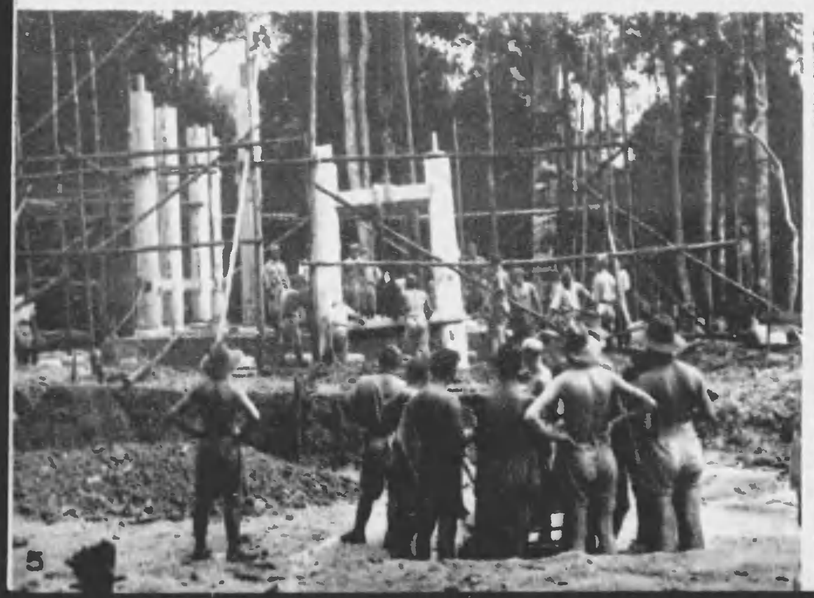
シンガポールが昭南市に生れ變つてから、はや半年たつた。イギリスが約百年間アジア侵略の據點として鍛造その經營にあたつてきたシンガポールも、新らしく大東亞共榮圏建設の重要基地として目覺ましい復興發展ぶりを示し、僅か半年の間に完全なアジア色をとりもどしつゝある。

その一つ昭南神社の御造營——昭南神社はかつて在留邦人の守護神として四年前に建立されたものであるが、この度シンガポールのアジア復歸を期として大々的に遷營されることになつたものである。昭南市北部約二万坪の神域は、現地軍の本仕作業に俘虜の勞役を合せて倍々整備を急ぎ、南方の聖地として見事な壯觀さをそなへつゝある。

とゝに示すものは御造營にあたる英軍兵俘虜の作業である

二日、三日と次第に新らしい勞役にも慣れて、俘虜のコンクリートを打ちもいたについて來た

⇨ 專門家の兵隊さんが言葉の通ぜぬ俘虜を管理し一切の御造營に大奮

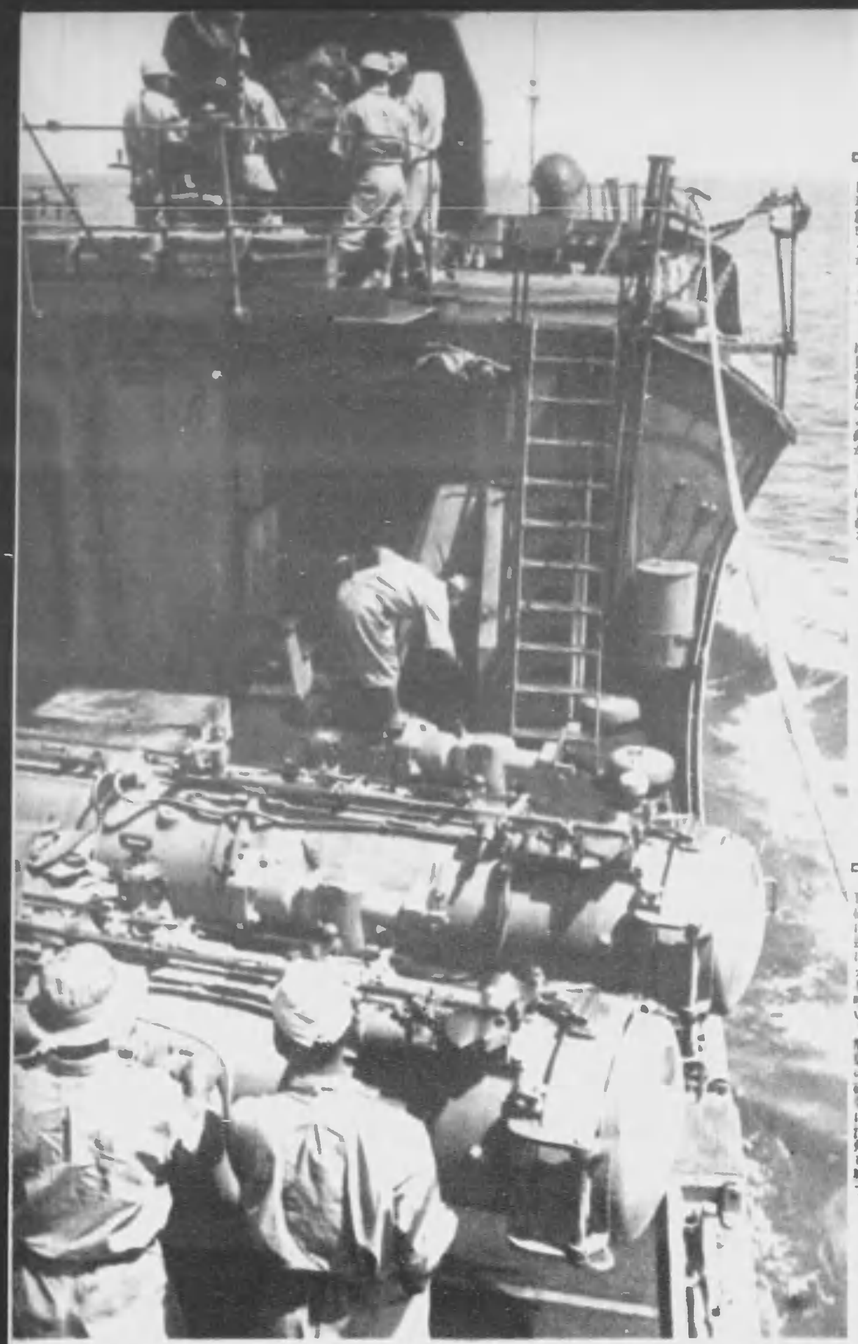


⇨ 兵隊さんにこき〳〵と指揮されて、ご生の仕込みに不器用な手を動かしてゐる俘虜

⇨ 參道の整備も着々進んで、神前に南方聖戰の決意を告げる國鐘が續々と響渡する日の遠からぬ日が今から偲ばれる

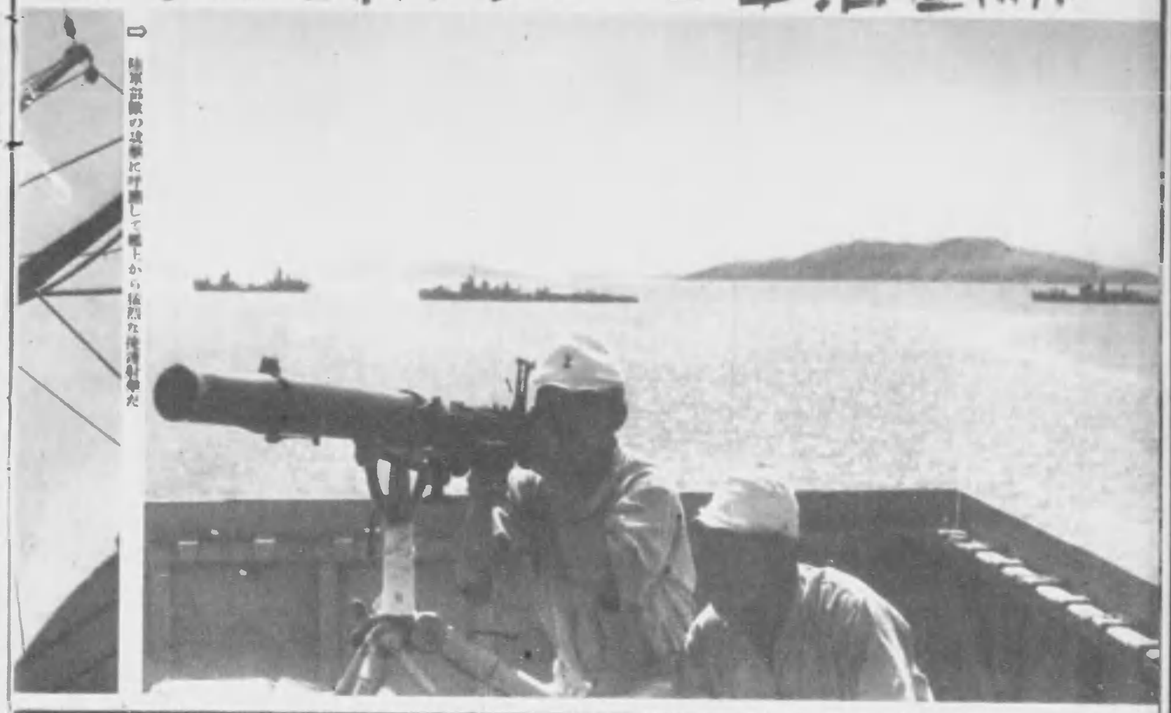
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

帝國海軍こゝにも作戰を展開



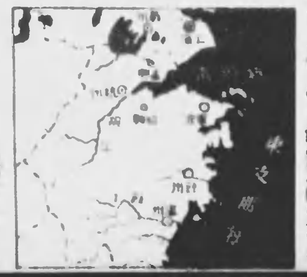
⇨ 日章旗ひるがへり、ようやくに見張員の眼かゞやけるころ

⇨ 陸軍部隊の攻撃に呼應して艦上から猛烈な艦砲射撃だ



支那方面艦隊の
温州封鎖

⇨ 日砲は遂に火を吐いて艦隊の威容は温州を壓す



⇧ 敵出を threat も見敵必殺の陣は布かれた

ビルマ・ルートの遮斷以來、氣息奄々の重慶政權はわづかに支那沿岸の毛細管ルートによつて命脈を保ちつゝあつたが、陸軍部隊が温州作戰を展開するや、わが支那方面艦隊の一部精鋭は〇〇隻の艦艇をもつて温州、乍浦港等の沿岸を制壓、錢江沿岸の要衝を封鎖して、温州作戰の陰に大なる戰果をあげた

英雄風浪と闘ふ沿岸封鎖にはソロモン海戰の如き華々しさはない

だが死期せる重慶の最後の血の一滴をも切斷せんとする封鎖艦隊の果敢な行動は、今次戰爆遂行の大きな力となつてゐるのだ。しかもかは廣漠一万浬の大海域に敵艦隊を索めて奮々の作戰を展開する日本海軍は、また一方において新編一隻をものがさない封鎖陣を布いてゐる。この實力、この鍛錬、ただ〳〵たのもしいかぎりではないか

撮影　支那方面艦隊報道班

わが潜水艦見事敵輸送船を撃沈

ソロモン海戦の大戦果と相俟つて、帝國潜水艦部隊は濠洲周邊水域である印度洋、オーストラリア灣、珊瑚海、アラフラ海で歌々と敵撃滅の陣を張り、大戦果を挙げた

大本營の發表によれば、濠洲周邊海域に作戦中の帝國潜水艦は七月下旬より八月上旬に亘り敵船十隻約九萬トンを撃沈してゐる

こゝに掲げた寫眞はわが潜水艦の砲撃によつて轟沈しようとする敵輸送船の断末魔を、潜水艦乗組員の手によつて撮影したものである

◻ わが砲撃は見事命中した

◻ 敵艦は次々と撃沈

◻ 遂に沒復に瀕す　撮影　潜水艦乗組員

大東亞戰爭日誌

八月

十一日　●アリューシャン列島方面海軍は八月八日同方面に出現せる敵有力部隊を撃退

十四日　●本日までに判明せるソロモン海戦の綜合戦果

一、撃沈船舶

米甲巡　ウイチタ型　一隻（旗艦）

米甲巡　アストリア型　五隻（内一隻旗艦　内一隻為沈）

英甲巡　オーストラリア型　二隻（内一隻為沈）

英甲巡　重型木津　一隻（為沈）

英乙巡　アキリーズ型　一隻

英乙巡　オマハ型　一隻

乙巡　軽型木津　二隻

駆逐艦　九隻

潜水艦　三隻

輸送船　十隻

二、撃破船舶

甲巡　重型木津　一隻（大破）

駆逐艦　三隻（大破）

輸送船　一隻（大破）

王、撃墜及行機　四十九機

戦闘機　九機

戦闘爆撃機

なほ本海戦に於けるわが方損害

飛行機自爆　二十一機

巡洋艦二隻軽微なる損傷を受けたるも戦闘航海に差支へなし

（註）さきに發表せる重型木津の戦艦は巡洋艦アキリーズ型なりしこと判明せるにつき訂正

十七日　●濠洲周邊海域に作戦中の帝國潜水艦は七月下旬より八月上旬に亘り敵船十隻約九萬トンを撃沈

マレーの俘虜

陸軍上等兵　竹森一男作

溝口一等兵は椰子の大樹の下にあるドラム罐の風呂に汗をながしてゐた

最後の入浴だつた。人影はあたりに無く、闇は次第に濃くなつて、南十字星は次第に近きと彼の頭上にまたゝき始めた。波はやさしく水浴を終へ、かすかにはゝえんだまゝ小唄を口ずさみ、衣服を着けてから、暗い石の階段を昇つてはいつた

居室は燈火管制されて暗く、そこに疲れきつてゐる兵隊の姿がぼんやりと浮かなやうに蠢いてゐた。煙草を吸ひながら、沼山、鎌田、吉村ときたいで、久保田と話合が向ひ合つて将棋を戦はしてゐるところを横目深く通り抜け、一番隅の、蚊帳の吊まだ開いてゐるところに敷いてある寝台の上に、溝口は坐つた。窓から星が見えた。明星してゐた。彼は汗血を額に居り、一杯に手拭をおいてそれを枕にすると、ながくと打ち置いて寝た

兵隊は上官の厳しい分隊監督の下で、遠東作戦等の多忙な生活に疲れ切つて、入浴後の一瞬の休息を何にも増して楽しんでゐるのであつた。深夜の遠征に出發する以外の者はすべて早寝きで穏やかな眠りに入ることが出来たからである。もつとも敵爆撃機は毎夜のやうに南方五キロの飛行場を襲ひ、時々移行して、溝口達の住居する駐屯近に爆弾を落して去つた。爆弾は白煙の柱を立て、落下し、土地を揺がし、家屋を破壊して多くの人間の血潮をその中に埋めた。敵機はさきつて開戦の三時から五時の間に出現した。兵隊は知恵明日の命を信じてゐたが、明日は知れることがあるかないか、それは絶対からぬ不安と恐怖を齎すのであつた。今は不幸な落着いた心になつて、たゞあるがまゝの運命に身をまかせてゐた。本隊、地上部隊としては、燈火管制、対空射撃部隊の編成等、敵機の来襲と十分な訓練を行き届いてゐるのだつたが、敵機襲撃に空中を駆け廻る飛行機においては、それ以上になすべき術はなかつた。たゞ一刻も早く發見して起置をとるとよりなく、結局また敵襲の用意を持つのであつた。兵隊は平和なときに人間赤行ふ生活の一切をとゝにおいてゐる顕はしなから、平然として、真全を盡して日々叱なうよ、お互ひは決意と合つてゐたのである

「敵機は既にクアラルンプールを完全に占領しジョホールバルに向つて進んでゐるらしい。シンガポールまであと三百キロだ」と柿本が云つた

柿本と溝口と頭を接し合つて、反対の方向に寝てゐる2年長の兵隊だつた。彼はニュース係をもつて任じ、午後五時三十分の海外放送のニュースがかゝると、ラジオを据えつけてある事務室に行つて手帳を開き、敵情に筆記するのだつた。そして夕食後、彼は居室に帰つてきて鎌田を揺ぶると、兵隊はよいつのまにか集合し、鎌を集めて、マレー半島の地図を覗き込むのである

「三月十一日の紀元節にや、きつと、シンガポールをはいなと俺は見てゐる！」

「早くシンガポールをやつつけないと、うまくて仕様がない。生意気に空襲なぞしなかつたらな……」

「今日は二月の十二日だが、内地では垂水の若井がさもいきゝしさうに云ひながらもいつまでもなかなか水面をとゞまつてゐるように、考へると不思議だな。あう毎日暑いなあ、全くやり切れない、頭が駄目になりさうだ」

「鎌田が云つた

「明れてもなさうだ、一日に三回以上出撃をやつてゐるたは厚いとこ

「若いなるたは厚いとこ

「そうだ、それは案外南洋も住みいゝさうだ。冬期にはいつて毎日スコールがあつて涼が快かるやうにでもなれば、夜なんか毛のシャツが必要になるさうだ」

と柿本が云つた

「そりやさうだらうな。人間が住んでゐるんだから、こゝにもうまく四季があるんだらう。しかし、内地が現在寒いんだから不思議だよ。寒いところで……今ごろはオーバーでも着て……」

と鎌田が云つた

溝口は孤独であつた。どういふわけか、思つたことが喋れなかつた。人の中へ全性格をもつて溶け込まなかつた。全く兵隊らしくなかつた。命令なく孤独だつた。これは彼の現在までをきはめて寂しいものにしてきたのだつた。大勢の仲間に囲まれたときは彼はいつのまにか、考へ沈んでゐるやうな姿勢となつた。虚勢に陥ひなかつたが、彼には分らなかつた

溝口は最低訓練時代でこの分隊に新らしくはいつて来た兵隊ではあつたが、兵隊は同じ運命のもとに集つて来たので、新入の者に対する子供ぽい自尊視とか、性格の合はぬために集団生活の悲劇を惹起させる原因とか、そんな複雑なものを持つてゐる筈はなかつた。むしろ、誰を捕へても自分の分身に話しかけるやうな無遠慮な親密さをつくり出すのが兵隊の習慣であつた

溝口は兵隊の単純さが分れば分るほど、現しまゐ原因はすべて自分にあることを認めざるをえなかつた。そこに悩みが生じてゐたのである

「今日も、やもりの奴、でつ〳〵出勤遊ばしたぞ。おい、電燈を消して照明弾を落せろ！」

「岩井が云つた

「おい、柿本！電燈を上に向けろよ」

と池原が喋つた。柿本の顔は禿げ上つてゐた

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

『懐中電燈よ』岩井が持つてるよ

胡木は眞剣に目くさつて、地圖を拡げ、皇軍の進撃の跡を追ひながらムニャ

岩井は雑嚢の中から、布で光を覆つたと思ふ頃の大きな懐中電燈を取り出した

『ここよりも、胡木の頭の方が光るんだ』

と胡木はさらに云つた。一同は暫く池原の洒落が分つたので爆笑した

『何をいふか！此奴……』

と胡木は笑ひながら、池原に躍りかゝつて行き締めたが、そのまゝ隣りへ寝轉んでしまつた。そして今しも岩井が照りつけた天井のほのかな明るみに眼を据ゑた

一同はやもりの生態に惹きつけられていつた

小さいやもりは長い尻尾をびく〳〵さして器用に天井を匂ひ廻つてゐた。下に降ちると透明なほど白くなるやもりは、白い天井では紫色に見え、四肢はほの赤く美しかつた

向ひ合つて進んで來た二匹のやもりが、ふと立どまつて睨み合ひ、爭ふやうな姿態になつてからみ合ひ、腹を波立たし、今身をびく〳〵顫はして　けけけけ　と啼いたとき、一同はどつと笑つた。やもりは飄逸な首を心持もたげて再び規則的に啼いた

二匹のやもりが親しさうに肩をならべ、それから口と口を合はして別れてゆくのを見たとき、一同は接吻の現場を目撃したと笑つて得意になつた

一寸にも足らない子供のやもりが、やもりやもりの形をして歩いてゐるのを見たとき、一同は心から可愛いといふ氣が起つた

一匹二匹、三匹、七匹みた。それが偶然として動かず、飛んでくる蚊をねらつてたくみにとらへる有様、また自由自在に駆け廻るをすばしこい蟲等が次第に現出して、やもりの世界はいつまでも見ても飽きない

『満口！』

眞剣に蚊を追ひながら、胡木の中、上トトニ[illegible]

『おい、お湯が沸いたかな

その時、吉村がばと跳ね起きて、[illegible]かのまゝ炊事場の方に駆け出していつた。彼の笑ひを明朝のおかずで笑ふのであつた

『おい、満口、コーヒーを一口にどくと飲んだ。誰にも知られぬやうにそこへ置いた

×　×

起床喇叭が鳴つたのは午前八時である。外はまだ薄暗く星も月もほのかに明滅してゐた。日本内地と一時間半違ふので、マレー時間では未だ六時半である

飛び起きて褌を巻きながら兵隊の胸に迫ひられた最初の印象は、まだ生きてゐるといふことだつた。昨夜も宗教が無かつた

合前に整列して點呼を受け、東の空を仰いで宮城を遥拝し、お互の顔面に留守宅の面影を発見のやうに驚いながら整列を終ると、空は漸くほのかに紫色に染まり、静かに橙色の朝が地平線上にあらはれてくるところであつた。その時は間に合分隊から三名の炊事番が出て竈に火を焚きつけは、鍋を刺り、米を切り、漬物を出し、釜に白米を入れて炊いた

點呼が終ると、新らしい朝が兵隊に兵隊を活気づけてきた。太陽はぐんぐん昇つた。星の見えた清空の窓からは新鮮な光の線が流れ込み、装具を吊つてあるクリーム色の壁を染めた。白い天井は清潔だつた。やもりは起床前にしきりに頓狂な鳴き啼いたが、いつのまにか天井からゐを消した。合前の緑色のゴム生は道路上の合歓木の並木の影を受けたところに鮮やかな濃淡をつくり、直接朝日が照りつけたところは、朝露を真珠色に光らせ、みづ〳〵しい清氣を放つて新鮮な空氣を一層清新づけた

合後に待機する事務室の窓の下にひろがつてゐる庭には、柔軟に接み合つた數種類の小さい植木があつて、白い枝や、緑色の葉や、大小さまざまの葉の重り合つた茂みの中から白や赤の花が咲いた。その花の中で、ムロの小さい白い花からはむせるやうな香氣がただつてゐた

裏のトタン塀を境にして驛の線路まで拡がつてゐる南洋芝の廣場には、鞭をもつた老インド人が褐色の布を全身に巻きつけ、頭の長髪を白布でくるんだまゝで茫然と數頭の牧牛を追つてゐた

椰子樹は微風を受けてその放射線をなしてゐる巨大な緑葉を空中にゆさぶり、まるで芝生として朝の體操を行ふ巨人のやうに立つてゐた。緑や黄褐色の實は淋漓として

茂の中に清めておいた香り高いコーヒーを[illegible]

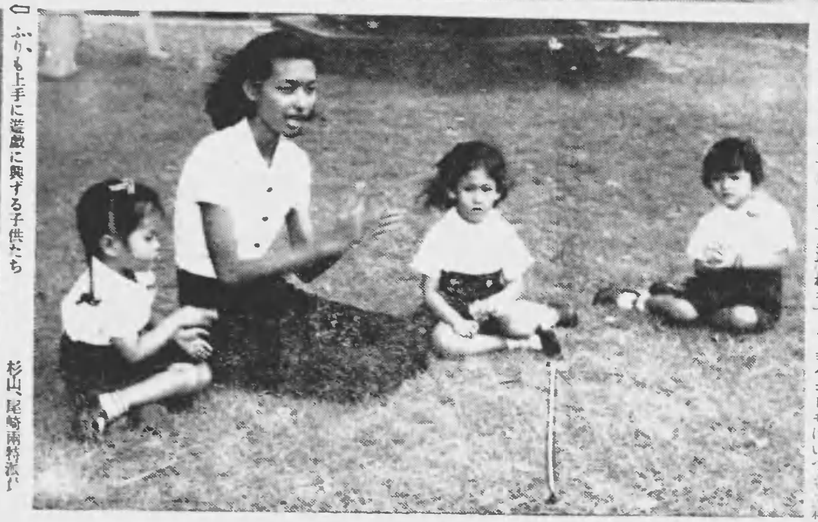
[illegible]

[illegible]

タイ國のかたがたが、楽しい夢にかよふ　タイ國では、衛生を謳に合せて、最大の謝意をあらはす　さあ、おやつ

先生のやさしい指導で智慧遊び。「まあ、おりこうさん、よくできたわネ」

可愛い藤をにぎり上手に遊ぶ　ヨイコドモはいつも元気



ふりも上手に遊戯に興ずる子供たち　杉山、尾崎兩特派員

タイ國

タイ國とつかず手を結び、人東亜共栄圏の建設に邁進することになつたタイ國は、大東亜戦争この十年間に、政治、文化の各方面に目覚ましい躍進を示してゐます

殊に教育制度の刷新、教育には先進國の長所を十分とり入れて、その徹底に力を注いで、将来タイ國の力強い発展を担ふ國民の育成に、大きな力を持つてゐます

この映画は、タイ国の幼稚園を訪ねて、よく〳〵と研究してきました

旨の幼いお友達、タイ國のヨイコドモの紹介致します

まづ、ウテ幼稚園は、バンコクでの有数な幼稚園で、満四、五歳から、七歳までの幼兒がお世話になつてゐます。まづ、朝九時までに、お母さまに連れられて集合、十二時におひる御飯、午後から午睡、二時におめざを覚したら水浴、三時におやつをいたゞいて三時半まで仲良く遊び、三時四十分に園宅の集合――これが、ヨイコドモたちの一日の幼稚園での楽しい幼い生活です

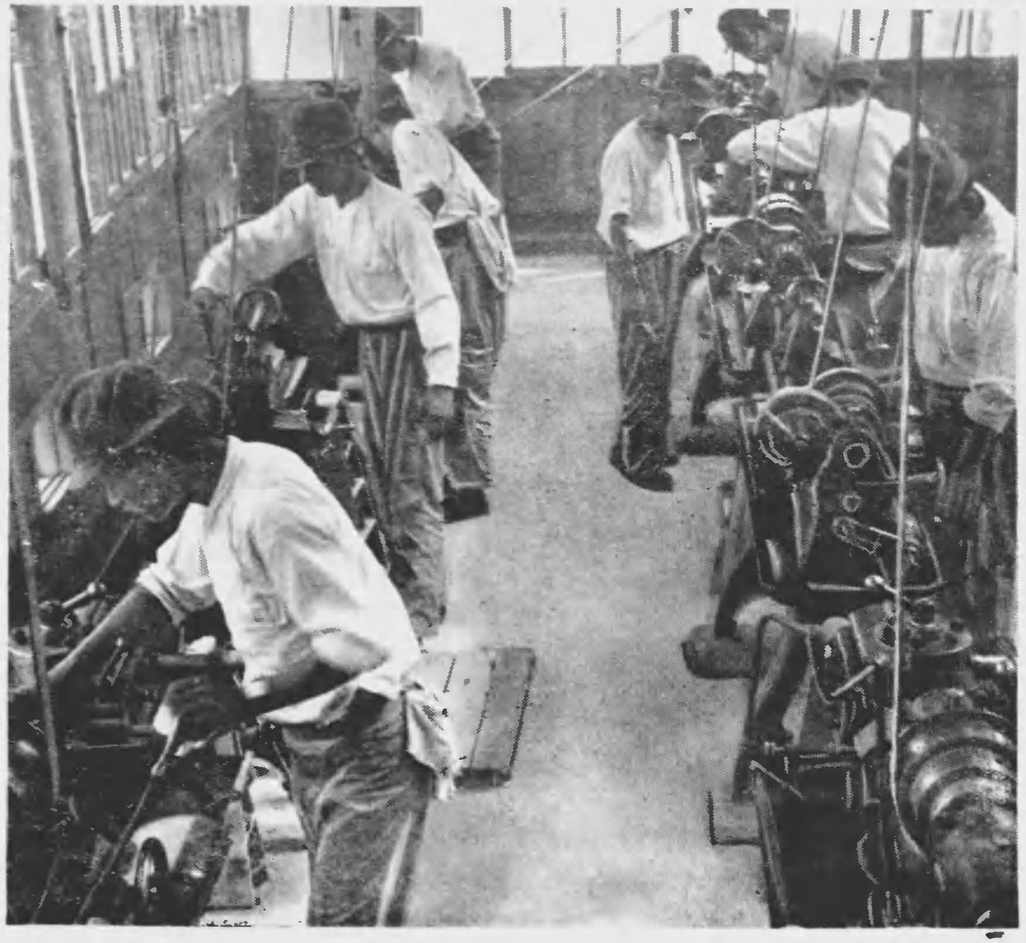
また非常に愉快なことは、この幼稚園の先生方が大部分わが國に遊學されたことのある方ばかりなことで、お世話の方法やその心構へには、わが國の長所がとり入れられてゐますから、将来このヨイコドモたちが大きくなつた時には、日タイ兩國間の協力は一層強化されることでせう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

働きながら養療で治る

——陸軍傷病兵奉公財団山梨作業所——

⇨ 強健な肺の試練に心を引きしめて銃の手入れをする傷痍軍人たち



⇨ 戰友たちの見守る中で、ハンマーを振るう。……の試験に挑むべきつけて、……石和町の兵隊工場……

⇦ お胸につけたしるしは……いくど聞いても勇ましいお手柄話をして……

……養しながら働くことのできる……の工場だできたらといふ、胸部疾患による傷痍の勇士たちの企画が……町で、こんど山梨縣の石和町に、……の手でこの兵隊工場ができ上り、八月一日から店を開いた

大抵、胸部に疾患をもつ者は、今快したのちも相當の期は、なほ自分の健康について十分留意するいはゆる……管理の必要があるわけだが、これが一般の工場になるとかうした病弱者を迎へる用意もなければまた……もない

從つて、胸部疾患の勇士たちが強健な人たちに伍して働くといふことになれば、いきおひここに問題が出よう。たとへ體が本當でなくとも、ひとが十倍くところならば自分もまけずに働きたい、ひとが百やるところならば自分もはやつてのけたい——それが意地でもあり、人情でもあるとおもふ。かうした無理が禍のもとになつてとりかへしのつかない結果になるならば、折角再起を誓つて起ち上つた勇士たちのために惜しみても餘りありといふべく、またそれはこの大戰下にあつて、生産力擴充に拍車をかけてゐる國家にとつても大きな損失であるといはなければならない

だが、さうかといつて病魔を恐れての驕り、たゞグラ〳〵と從前從食の日を送るといふことは、生活の問題は別としても第一に勇士たちの氣持がそれを許すまい

そこで軍事保護院では、これら胸部疾患の勇士たちに、見つつ養し見つつ働くといふ適當な保護施設を與へ、再起奉公をはからせたいといふ親心から、環境のよい健康的な農村を選んで、從業員十五名程度を收容する小工場を全國に約二十ケ所設けることゝなり、その先發を承つたものが石和町の兵隊工場である。……財團山梨作業所である。……

……

……

九月の常會

貯蓄戰の堅實な戰法……

國民貯蓄組合を作れ……

二百三十億の貯蓄目標を積み上げるためには、皆さんそれ〴〵に苦心をしてをられることゝ思ひます。今日までのところ、その成績も極めて優秀順調です

しかしなほ一層確實にこの目標に達するために、この常會では「國民貯蓄組合」による貯蓄の増加といふことを考へてみませう

丁度、昨年この國民貯蓄組合法が實施されてから滿一周年になりますので、九月一日から一ケ月間を「國民貯蓄組合强化擴充期間」としてその機構整備に努め、飛躍的な貯蓄の増加を目ざしてゐます

そこで次ぎのやうなことを、必ず徹底的に實行することに致しませう

第一、國民貯蓄組合をまだつくつてない所では、すぐにつくつて利用をし、また組合があつても未だ加入してゐない人があつたら、必ずすゝめて加入させることにしませう

國民貯蓄組合に加入は日本人としての一つの資格だ、といふつもりで、必ず加入しませう

第二、隣組に加入してゐても、未だ入らぬ人があつたら、ぜひ隣組へそうに入つてゐる人もあるかもしれません。これでは無だ心もとない次第です。すぐ入つて貯蓄と銃後の戰へ捧ぐといふ熱意に燃えて切りつめられるだけ切りつめて貯蓄額をより一層増額することにしませう

また額の少い人は増額するやうに奬めませう

第三、これまで、隣組や町内會、また職場などで申合せて貯蓄を實行

あなた方の作つた……ヒマの種子のとり方……

三月の常會で申合せたヒマの栽培はどうなつてゐますか

順調に育つてゐれば、もう皆さんの苦心が實つて直接に實を結んで、收穫期に入り、熟果の採集、調製、乾燥の時期になつておることと思ひます。そこでこれらについて千萬ものないやうに取扱つて、如何に貯蓄を無駄にしないやうにしなければなりません。次ぎに特に注意すべき點を申し上げませう

果房の初熟は八月の上旬で、最終は十一月の降霜期まで行はれますが、熟しきると果房が黒褐色になり、また種子が地上に落ちます。この常會では、この落果を長く地上に放置しないこと、ここの大きのやうにやつて下さい

一　採集　熟果は自然成熟ないうちに、天氣のよい時、下位の果房から順次に上枝に向はしから摘み取つて下さい

二　調製　摘みとつた熟果は、二三日間、乾燥して、外皮が軟化したら、熟果が少量の場合は手で揉み、多量の場合は足で踏んで、種子を外皮から分離して下さい

三　乾燥　採集した種子は濕り氣のある所に置くと變酸しますから、果果係に引渡すまでは通風のよい場所に保管して置いて下さい

四　集果係　集果係は隣組または部落會を單位にして適當の人が責任者となつてこれにあたることにし、午前軍人市町村分會の手を通じて軍の指定工場へ送つて下さい

かうしてとれたヒマの油まわが荒鷲の發動機になくてはならない大事な潤滑油として大切な役目をはたすことになるのですから、たとへ僅かだからといつて、おろそかにしないで注意深く取扱ひ、少しでもよい實を供出するやうに致しませう

各地常會だより

お祭の祝をやめて

この部落では十五人の組合員で昭和十三年六月に國民貯蓄組合を作り、はじめはお祭の祝宴廢止などの生活刷新をとつて貯蓄の増强をはかつてゐたが、これだけでは消極的で十分な貯蓄増加を望まれないと、組合長さんの提唱で勤勞貯蓄をすることにして、毎月一日、十五日の休日を利用、組合員一同が林業方面の請負工事に出動、その勞賃を組合貯蓄に振り向けることにした。このため貯蓄額は見る〳〵増加して、一ケ月一人當積立金は最高二十圓、最低五圓といふ好成績を收めてゐます

―茨城縣久慈郡小野村田口部落―

尊い兒童の結晶

昭和十三年四月兒童の國民貯蓄組合を結成しました。貯蓄の方法は毎日の小遣錢を使はずに毎日學校に持つて來て貯蓄することにしましたが、兒童の中には進んで製品回收をしたり、納豆を賣つたり、新聞配達をしたり、串削りをしたりして、その分を貯蓄した者が大勢ありました。また小遣錢の節約が非常に徹底したため町内の駄菓子屋さんから苦情が出る始末でした。かうして三年間に一千四百十四人の兒童が貯蓄した總額は二万二千八百十七圓、一人平均は十五圓四十三錢となつてをります

―水戸市櫻田國民學校―

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

九月

一　日▽十日まで國民貯蓄組合强化擴充運動
▽關東大震災から滿十九年
八　日▽大詔奉戴日
▽第四回戰時郵便貯金切手賣出
十五、十四日▽司法保護週記念日
十五　日▽滿洲建國十周年國都で盛大な建國式典を擧行
十八　日▽滿洲事變勃發十周年
二十日▽第二回航空日
二十四日▽秋季皇靈祭

⇧去年の天候不順にひきかへ、今年は大東亞戰爭をやりとげる銃後の勞苦を神も照覽あつてか、今までのところ天候は全國的に至つて順調、農林省の調査でも到るところ豐作が豫期されてゐます。だが、どつしりと重いお米として種るのは來年大詔先のこと、どうか二百十日も無事で通過するよう、お百姓諸君も傷の踏倒れも、田に立つ前、祭をとる前、靜かに天に祈りませう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

東京帝國大學
醫學徒報國隊

大學生のお医者さん
山村僻地を往診

埼玉縣秩父

伊豆の夏！　[illegible]

[illegible]して[illegible]清純な意想と溌剌たる肉體が陸を切られたやうにドッと社會に流れ出す快適の千篇だ。特に今年は大東亞戰爭下初の夏休み、[illegible]は[illegible]に戰ふ學生の意氣を示すは[illegible]の時と、全國の青少年學徒は學徒報國隊の旗幟も高々と、工場に、或ひは農村に、さては滿洲、支那にまで進出して若き肉體を勤勞の汗に注ぐしてゐる

このうち醫學徒は、病院等減は復らなりては自信滿々、七月下旬以來約二ヶ月間に全國二十數校の醫學徒が各府縣の指定無醫村に出發、村民の治療、保健指導、醫療狀況の調査等に輝々の戰果を擧げてゐる

×　×

とは去る八月四日から十日間、埼玉縣秩父郡大滝村柳本、落合の二部落を據點とした東京帝大「醫學徒報國隊」の愛の診療報告である

たは一行は東京帝大小兒科外來醫長松村龍雄氏外三氏を指導教官とする學生十名で、千數百人の村民を診療、投藥、保健指導等に當つたが、今秋十月には再度教官が村を訪ひ、結果報告と共に具體的指導を行ふはずである

撮影　埼玉縣　清水武甲

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

樺太オタスのよいこどもたち

ギリヤーク族の女兒

オロッコ族の少女

サンダー族の少年

樺太の皮に色糸で刺繍の帽子がぬひとられてゆく。郵館の時間。五、六年生の女生徒の指先が器用に働いてこんな美しい花鳥が織かれて行つた

俗に『オタスの仕』といはれてゐる島がある。戦内川から多来加湾にそいで河口に浮んだ、砂とツンドラからなる三角洲こそが樺太に棲む原住民達の平和境『オタスの社』である。現在樺太に棲んでゐる原住民は、オロッコ、ギリヤーク、キーリン、サンダー、ヤクートの五種族だ。その大部分がこゝに集まり、定住の生活をしてゐる。かつて一張の天幕をたづさへ、駿鹿を追つて雪原に獲物を追ひ魚族を求めて水邊を放浪するといふ原始そのまゝの遊牧の生活を営み、自ら生産することを知らなかつた彼等ではあつたが、築かれつゝある樺太の文化は、彼等にこの原始以来の生活を捨てさせ、生産に従事し、規則的な定住生活を営むことを教へたのであつた。そして現にひたひたと押しよせる時代の息吹を呼吸しつゝ強い農民意識に目覚めて、ひたすら農業開發に建設的協力を傾けてゐるのである

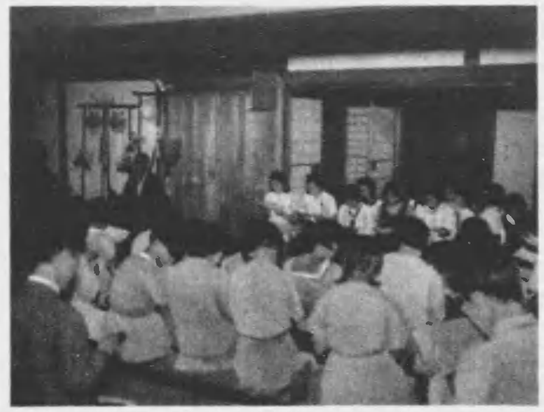
だが永い放浪生活に慣れた彼等が一朝一夕にこの新らしい生活に入れるものではない。その陰には樺太圏の風氣のよい指導があつたことはいふまでもない。そしてより根強く彼等を陶冶してゆくには教育によるほかはないのだ。この目的で昭和五年開設されたのが當時の教育所、現在約四十名の男女兒童達が希望に燃えながら嬉々として勉學にいそしんでゐるオタス國民學校だ。綺麗な標準語ではきゝ〳〵と語る彼等、ラジオ體操に健康に微笑と練成される彼等。この少年少女達の明日にこそ『皇國民』として明るい希望の光をみることができるといへよう

お母さんのやうに優しい先生を圍んで野外授業『これはね』さうです、ジャガイモですね。この柔らかい葉は煮て食べるともできるのですよ』たつた一人でこの島に棲んでこの子供達の教育に獻身してゐる川村先生は日本語、オロッコ語、ギリヤーク語等の言葉を使ひわけながら熱心に講義を続けます。それに聴入るそうに、ぴたりと張ひよせられた兒童達の可憐な耳と眼

⇨イタス神社に參拝する兒童達、大詔奉戴日には皇軍の武運長久を祈願するといふとの子供達には強い日本の兵隊さんの姿が焼つてゐる

⇨イガグリ頭もオカッパも、内地の子供と同じゴホンをよんで、みんなヨイニッポンジンになるんだ——と一心に勉強です

⇨——ケフハネ、コ、ワナラクノ——赤々と燃えるストーブの傍で、お父さんも、お母さんも、おさしひのお下髪ひです



⇧田圃の覆滅—黄金虫の退治

北海道の根室、釧路地方に毎年発生して農作物を荒らし猛威を振つてゐる黄金虫が、近年、北海道庁農務課の研究の結果、この黄金虫の天敵として、寄生蜂の一種が発見されたので、今年は一戦交えて、この害虫を撲滅せんとの意気込みで、村民挙げての捕殺作戦に入り、一昨日千貫近くを捕殺した上、悉く海に投じた。　左上

夜間女學生の奮鬪

農村は銀行や会社などに勤め、夜間通學してゐる純真な女子學院第二本科の生徒有志二十名は東京市小石川の昼間院において、夜間講義、勤労奉仕作業と特別練鍛を七月十一日から二日間にわたって行ひ、夜間女學生の気風を示した。

⇧「町の兵營化」へ

『町の兵營化』を目指し全町の國防體制を整へるべく、去る四月二十日、こんど毎月二十日を資源増産の日と定め、承及び生産地、恒出するための男女團体をつくつて、二日を資源増産の日と定め、承及び生産地、恒出するための男女團体を結成して、農村の刈取り、茶摘の電柱、麻苗の回收をとる實施大きな成績をあげてゐる

學徒海に鍛ふ

大日本學徒練興會では、戦時下學徒の海洋精神を昂揚するため、高等十校から八十三名を選抜し、さきごろ鳥羽商船學校で海洋訓練を行つた　左下

名古屋市　川下　復男

復讐室

本號からあなたは何を學んだでせうか。

1 こんどの交換船漫問丸、コンテ・ヴェルデ號で帰朝した二百人程は語るでせうこの二百人程は語るでせうこの二百人程は語るでせうこの

示せ貯蓄の底力！

大東亞戰爭

國債

郵便局売出

八月一日

八月二十一日

戰時

貯蓄債券報國債券

九月一日

九月二十一日

売出八月二十一日

九月二十一日

大藏省・遞信省・日本銀行・日本勸業銀行

内閣印刷局印刷發行

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/